

【 年間テーマ 『働き方改革』を考えた人材確保 】

令和元年 12 月 25 日提出

日付	令和元年 1 1 月 9 日 (土)			
場所	TKP ガーデンシティ博多 新幹線口 3-A		記録者：小川 絹代	
出席者 (敬称略)	東福岡和仁会病院 坂田 加代子	松尾内科病院 原 佳子	福岡和仁会病院 久富 美和子	東福岡病院 佐藤 和代
	水城病院 大久保 江利子	永野病院 仲眞 裕子	津屋崎中央病院 小川 絹代	原土井病院 眞名子 佐喜子
テーマ	1、短時間勤務職員の受け入れと活用（働き方） 2、サービス残業を減らすための工夫や業務改善について 3、次回発表（R2年2月）の構成について			
結論	1、各施設より勤務体制について報告あり 短時間でも働きやすいようにその人に合った業務内容、時間を設定した →この事は常勤職員業務の負担軽減に役立った 2、各々の部署で業務改善を行った <ul style="list-style-type: none"> ・ フローシートの活用方法を再度検討して記録の短縮を図る ・ 業務時間の検討→短時間のパート職員（高齢者含む）を多数採用 ・ 看護師と介護職員の共同作業を明確化し、お互いの業務負担の軽減を図った ・ 残業する場合、師長、主任が指示する ・ 残業は自己申告とし、所属長がチェックして提出する ・ 休日、夜間、託児所設置、病児保育→働きやすい環境作り 			
決定事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今年度の活動内容を各々の開催日の書記がまとめ、発表する ・ 各施設で働いている職員のステキな笑顔の写真を各自持ち寄る (1施設 A4 1枚ずつ) ・ 参考資料として、東福岡和仁会病院より「スピーチロックをなくすために求められるもの」紹介あり masa の介護福祉情報裏板 参考 			

抑制廃止とケアの質を高める会 事務局

E-メールアドレス info@famcf.jp

(FAX.092-691-3961)